

ディボーション質問表

4日（日）先週一週間のディボーションを振り返ってみましょう。

1. 心に残った箇所、教えられた箇所に何か共通点はありましたか？
2. その中で一番心に残っていることは何でしょうか？
3. 教えられた事をどのように先週の歩みの中に生かせたでしょうか？ その事を誰かに分かち合ってみませんか。

5日（月）コロサイ人への手紙 3：12～4：1

1. パウロはあなたを神に選ばれた者、愛された者だといっています。 そのあなたに何を勧めていますか（12～17節）？
2. 質問1をここにある人間関係において（妻、夫、子ども、親、部下、上司）今日実践しましょう（18～25節）。

6日（火）コロサイ人への手紙 4：2～18

1. 伝道における、神様の役割と人間の役割を発見して下さい（2～6節）。
2. 初代教会の他のクリスチャン（他のセル、他の教会）との関わり方を見つけて下さい。
3. 4章全体から祈るように示された事を、今日祈って下さい。

7日（水）テサロニケ人への手紙第一 1：1～10

ギリシャ文明衰退後のテサロニケの町は、さまざまな偶像と低い道徳観、倒錯した性の蔓延に満ちていました。 現代の文明社会とよく似ていたわけです。 そのような中でも、神の基準にもとづいた清い生活をおくる彼らをパウロは励ましています。

1. 現代日本とよく似たテサロニケの社会にはどんな誘惑があったと想像されますか。
2. 福音はことばによらず、何によって伝えられましたか。 受ける側、語る側を注意深く探ってみてください。 私たちが日常どんなときにそれを実践できるでしょう（1～5節）。
3. 生活レベルにおいてあなたがテサロニケの信者から見習うべき点は何でしょうか（6～8節）。

8日（木）テサロニケ人への手紙第一 2：1～20

ここではパウロが霊の親として、テサロニケ人に語りかけています。

1. 働き人としてのパウロの基本的な心構えを発見してください（1～6節）。
2. パウロの母親的な対応を発見してください（7～10節）。
3. パウロの父親的な対応を発見してください（11～13節）。
4. ユダヤ人と同じ様な失敗を自分たちもしていないか、黙想してみましょう（14～20節）。

9日（金）テサロニケ人への手紙第一 3：1～13

1. 苦難は私たちにどのように定められていますか？ テサロニケの人々は苦難に対しどう対応しましたか？ パウロはどのように対応しましたか（1～10節）？
2. 11～13節にパウロのとりなす言葉があります。 私のためにだれかがこのように祈ってくれているのなら、愛を増し、心を強くし、聖く生きるわたしの一日はどのようなものでしょうか？ 今日出来る実践を書いてみましょう。

10日（土）テサロニケ人への手紙第一 4：1～12

1. 神のみこころは何ですか？ あなたの社会生活にあてはめるとどのようなことになりますか（1～8節）？
2. パウロの勧める「兄弟愛のある生活」はどのようなものですか（9～12節）？